

# 教育特集

# 教育現場の現状と将来

- ①設立年月日
- ②卒業生数、在校生数
- ③カリキュラム
- ④教育方針
- ⑤この1年間の自校の変化
- ⑥昨年度就職状況、今年度就職展望
- ⑦今後の教育展望

多様性によって働き方から学ぶスタイルにまで、様々な変化が起きている。

溢れる情報を判断できる知識や学びが必要だが、学ぶ前に簡単に儲けられる社会において、学びたくなる魅力あふれる業界でなければ、次世代の若者はそこに希望を抱かない。

特に専門知識の多い業界では、専門教育機関の果たす役割は大きい。業界人による継続した学びも必要になってきている。

業界関連の教育機関に、現在の状況、変化への対応、そして今後の見通しを聞いた。

## 東京眼鏡専門学校

### 実践的な眼鏡技術者を養成



①昭和43年4月。平成12年に日本眼鏡専門学校と早稲田眼鏡専門学校が合併して開校。平成16年に校名を東京眼鏡専門学校に変更。

②卒業生7,130人(全日制4,112人、通信教育2,926人、ケチャム通信92人)。在校生123人。

③英会話、心理学、人体のしくみ、光学入門、光サイエンス、眼鏡光学、光学機器、眼科学、薬理学、眼のしくみ、屈折測定論、両目視機能検査、眼鏡製作・調整、フィッティング実習、コンタクトレンズ、流通論概論、眼鏡店経営、眼鏡店マネジメント、メガネとファッション、カラーコーディネイト、人間工学、プロダクトデザインの基礎、手作りメガネ工房、学内実習、学外学習など。

④実践的な眼鏡技術者・眼鏡店経営能力者の育成と人格面での形成を目指す。

▽3年制カリキュラムと少人数制の

授業▽外部の眼鏡店等でのインターン制度により、実践力を強化▽クラスアドバイザーによるきめ細やかな勉強・生活指導▽ガイダンスや企業研究など万全の就職指導。

⑤2020年度より通信教育において、ビデオ受講を多数取り入れ、従来のスクーリングと併用して、より受講しやすい形をとった。また、通信教育では2022年度より科目履修コースを新設し、眼鏡作製技能士検定試験に向けて学びたい科目だけをピンポイントで短期間で学べるようにした。

⑥2023年度就職希望者は全員就職した。2024年度は、就職希望者は全員内定済み。

⑦専門学校卒業生の強みである実践力を増々強化し、即戦力の眼鏡技術者を養成したい。

▽学生の教育水準を引き上げ、実践的な技術者を輩出する▽国家検定資格「眼鏡作製技能士」の取得を目的とする教育を目指している。



フォード睡眠・生体リズム研究所 所長、医学博士、千葉伸太郎博士

睡眠に関する社会課題の解決に向けた取り組み「寝る育®」の一環として、一般社団法人日本睡眠協会(理事長:内村直尚)と共同で、2024年11月19日に、学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校(埼玉県さいたま市、校長:吉田賢)へ睡眠に関する学習機会を提供した。

日本では大人だけでなく子どもにおいても睡眠時間の短さが指摘されており、発達をはじめイライラ、不安が大きくなりやすいといった感情面、学習面など様々な影響が懸念されている。

地域や社会全体で連携して睡眠の時間や質を改善していくことが求められる一方、睡眠に関する正しい知識に触れる機会はまだ少ないのが現状だ。

JINSは睡眠をめぐる社会課題解決の観点から、睡眠研究の世界的な権威による、睡眠とブルーライトに関する研究の支援や、より多くの人に睡眠について学ぶ機会を提供する「寝る育®」に取り組んでいる。

2024年7月~9月には、科学的根拠に基づいた情報発信を掲げる日本睡眠協会と共同で、品川女子学院中等部および高等部の生徒へ「睡眠と生活習慣」を切り口とした特別講座、研究支援を実施した。

\* 西野精治博士(米国スタンフォード大学医学部精神科教授、スタン

フォード睡眠・生体リズム研究所 所長、医学博士、千葉伸太郎博士(医学博士 太田総合病院記念研究所・太田睡眠科学センター所長)、前田直矢医師(スタンフォード大学医学部精神科研究員)の3名

今回JINSは、東日本電信電話(株)埼玉支店とさとえ学園小学校が、NTT東日本グループとともに実施する睡眠×データドリブン教育「睡眠データを活用し個別最適な睡眠改善を探究する授業」へZAKONE加盟企業として参画。2024年11月19日の特別授業では、日本睡眠協会内村理事長による「子どもの成長・学習と睡眠〜睡眠における光の影響〜」と題した基調講演を実施。JINSは、睡眠における光の影響、ブルーライトとの正しい付き合い方、睡眠に関する製品開発の背景を紹介した。

子どもたちは、ブルーライトは日中浴びた方がよいこと、就寝の2~3時間前は避けた方がよいことなどを学んだ。2025年2月には最終発表会にて、子どもたちが自ら考えた睡眠に関する新製品のアイデアや睡眠改善の取り組みなどに関するプレゼンテーションが予定されている。

今後もJINSは日本睡眠協会をはじめとする多様なステークホルダーとともに、睡眠をめぐる社会課題の解決に取り組んでいく。

ZAKONE=日本の睡眠課題解決に対してさまざまな企業が共同で睡眠改善に資する新規事業創出やサービス開発、イベントを企画する仮想コミュニティ「Sleep Network Hub」

「ZAKONE」(ザコネ)。

そのパワーアップする要因は4つ。

1つ目は、「日本メガネベストドレッシング賞」の復活。多数のメディアが集結し、TVや雑誌に取り上げられる機会を日~3日の3日間、東京ビッグサイト東7ホールで開催を予定している。主催のRX Japan(株)が「来年は今年以上にパワーアップして開催する」と発表した。

2つ目は、この数年ファッションの一部として開催されていたIOFTが、来年度は専用ホール(東7)にて開催することにより、出展社が懸念していたディスプレイ表示問題などが解決され、新製品ギャラリーや、メガネに特化した企画の実施により、より商談意識の高い眼鏡バイヤーの来場に期待できる。

3つ目は、福井県眼鏡産業120周年の記念イベントを開催する。歴史や体験展示コーナーを設置するほか、特別記念講演なども企画中である。

4つ目は、海外有力バイヤーの特別誘致。各国のバイヤーを150人限定で誘致する。VISA取得のサポートを行い、特別に無料招待するという。

一部は変更になる場合もあるが、日本国内へ誘致することに力を注いでおり、海外へ出ない人へのチャンスも創出する。



ニコンは、誰もが知るレンズブランドです。

ニコンは、ニコンのカメラレンズのコントラスト解析に使われてきたMTFを活用した初めての遠近両用レンズ『Zシリーズ』をメガネの愛眼から12月6日より発売開始した。

## ニコンが本気でつくった「Zシリーズ」愛眼全店で違いを体験できるキャンペーン 新しい老眼対策レンズ

Zシリーズレンズとはニコンから誕生した、カメラ



の開発技術を搭載した新しい老眼対策レンズ。

遠近両用レンズの着用者のうち、10人に8人は「完全な満足」を得ていないという調査結果がある。\*メーカー調べ。

この問題を解決するために、ニコンがカメラレンズの開発にも採



用してきた新しい光学設計技術を用い、日常生活の見え方に影響を及ぼす「コントラスト」に着目。老眼対策レンズ『Zシリーズ』で快適な見え方を

1月31日まで全国のメガネの愛眼店舗で開催している。

キャンペーンは12月6日から開始。ニコンの新作遠近両用レンズ『Zシリーズ』の購入者を対象に、高品質で人気の高いニコン製品が抽選で当たるキャンペーンとなっている。\*オンラインは対象外。

「見る」ことへの妥協なき追及をする

実現する。特徴としては、薄暗い場所でも小さい文字もくっきり、クリアな視界がこれまでも広がる。

全国のメガネの愛眼全店にて、Zシリーズのテストレンズを用意。店舗にて最適な度数と、Zシリーズの体験が可能だ。今までの遠近とは一味違う、広い視野とクッキリとしたコントラストの体験で楽しませたい。

## 自動でピントが合うメガネを開発するエルシオが注目浴びる

スタートアップの飛躍を支える発射台になりたい」という思いのもとで立ち上げられた、シード期のスタートアップに特化したピッチイベント。

今回は、数百社以上の応募者の中から選考を勝ち抜いたファイナリスト9社が登壇し、自社プロダクトとそれにかける熱い思いを語った。

エルシオのCEO李氏は冒頭で「2050年には約10人に1人に失明リスクがある」と述べ、「デジタルデバイスを使いすぎにより目への負担は増大しているが、メガネの役割は江戸時代から変わっていない」と言及。この現状を踏まえて、エルシオは、目の状態に合わせてリアルタイムでピントが変わる「オートフォーカスグラス」によって「メガネが目を守る時代」をつくらうとしているとアピールした。

## 海外バイヤーを無料で誘致する

## 2025年のIOFTは10月1日~3日

「第38回国際メガネ展 IOFT」は、2025年10月1日~3日の3日間、東京ビッグサイト東7ホールで開催を予定している。主催のRX Japan(株)が「来年は今年以上にパワーアップして開催する」と発表した。

## 目指す資格は「眼鏡作製技能士」!

【眼鏡技術者への第一歩は全日制で】  
●第一眼鏡学科(高校卒)=3年制  
●第二眼鏡学科(短大・大卒)=2年制

【社員のレベルアップは通信教育で】  
春コース(4月開講)=2年制  
秋コース(10月開講)=2年制  
通信教育科目履修制度スタートします。詳細はHPよりご確認ください。

学生募集中!

学校法人 東京眼鏡学園(東京都認可専修学校) **東京眼鏡専門学校**  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-26-10  
TEL.(03)3360-7046 FAX.(03)3360-7143  
http://www.toc.ac.jp

宝石の鑑定・鑑別

**DGL**  
DIAMOND GRADING LABORATORY

ダイヤモンドの専門家

東京 TEL.03(3832)2432 FAX.03(3832)2439  
名古屋 TEL.052(732)0580 FAX.052(732)0622

大阪 TEL.06(6253)1436 FAX.06(6253)1430  
福岡 TEL.092(414)6065 FAX.092(413)7717

rental atelier  
**Woody Bell**

ハイジュエリーの制作、修理、リフォーム、彫り  
〒110-0015 東京都台東区東上野1-1-8 竹内ビル2F  
TEL.03-5688-2390  
https://www.woodybell-j.com/

大好評!大反響!  
AI搭載のダイヤモンド判定器

**DIASYNTH**

EVIDENT 黄金蛍光X線分析計 Vanta GX  
SHIMADZU 蛍光X線分析装置 EDX  
HIROX 超高精細マイクロスコブ HRX-01

第36回 国際宝飾展 2025.1.15(水)~18(土) 東京ビッグサイト Booth No. 23-43

アルファミラージュ株式会社 TEL.06-6924-2631 https://www.alfamirage.com

**OKUSA CORPORATION LTD.**  
Keller Trading 代理店

ヨーロッパの最高品質に包まれる。

マイクログラフメーター 高品質測定器  
Trade-art-shop-pro.jp  
株式会社大日 TEL.075-212-6840 www.okusa-corp.com